

## (9/22) 第38回特別シンポジウムのご案内

ギガビット研究会では、アンテナ・高速回路・EMCの設計評価に関して、電磁界理論に基づく理解を目標に、各種課題のより深い理解、新しい知見・情報取得と併せ、新規研究テーマ探索も考慮した特別シンポジウムを開催しております。

今回の特別シンポジウムは、以前のシンポジウム講演の中から再講演のご要望が多かった回路基板配線に関する問題のうち、岡山大学の豊田啓孝先生による研究成果の講演です。差動配線が多く使われる回路基板では、線路の不連続部で平衡度が崩れることによる不要モード成分の発生が問題となります。これをモード等価回路の概念を導入することで行う評価手法が主題の内容です。ご関心のある皆様、奮ってご参加ください。

### 【9/22 (水) 開催】ギガビット研究会 第38回特別シンポジウム 「線路の不連続部におけるモード変換によるノイズ発生モデルとその評価」

**日時** 2021年9月22日(水) 13:30～15:00

**方式** Zoomによるオンライン開催

#### プログラム

13:30～13:35	開会挨拶
13:35～14:55 (質疑含む)	『線路の不連続部におけるモード変換によるノイズ発生モデルとその評価』 岡山大学 教授 豊田 啓孝 先生  線路の平衡度という観点からノイズ問題を理論的に取り扱い、ノイズ低減のための効果的な対策や設計に活かすことを目標に検討を行っている。具体的には、多線条線路の平衡度を指標として構築した「モード等価回路」を用いる。この等価回路では、平衡度が変わる線路の不連続部に平衡度差に比例した等価電源を配置することでモード変換を表現する。この「モード等価回路」を用いた解析の妥当性は、実測や3次元電磁界シミュレーション結果との比較により検証している。本講演は、第17回特別シンポジウムで行った「モード等価回路」の説明を再構成し、さらに、当該シンポジウム以降の進捗を含むこれまでの評価事例を紹介する。
14:55～15:00	閉会挨拶

**参加費** 法人会員・特別会員は無料、法人准会員は 28,600 円 (税込 31,460 円)

**お申込み** メールで、ギガビット研究会 [gigabit@sangaku.uec.ac.jp](mailto:gigabit@sangaku.uec.ac.jp) までご連絡ください。  
会員の種別によりお申し込み方法が異なりますのでご注意ください。

**お申込み締切** 2021年9月17日(金)

### <法人会員>

1. 法人名（会社名）
  2. 所属
  3. 氏名
  4. Zoomの登録名
  5. メールアドレス
- 以上5点をご連絡ください。

### <特別会員および研究室所属学生>

1. 氏名（学生の場合は、学生氏名と括弧書きの特別会員氏名）
  2. Zoomの登録名
  3. メールアドレス
- 以上3点をご連絡ください。

### <法人准会員>

1. 法人名（会社名）
2. 所属
3. 氏名
4. Zoomの登録名
5. メールアドレス

以上5点をご連絡後、お手数ですが、参加申込書に必要事項を記入・捺印のうえご郵送（もしくはメール送信）をお願い致します。

### お問い合わせ先

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

国立大学法人電気通信大学 産学官連携センター ギガビット研究会事務局

TEL : 042-443-5848 e-mail : [gigabit@sangaku.uec.ac.jp](mailto:gigabit@sangaku.uec.ac.jp)